

報道関係各位

2016年4月8日
ホテル椿山荘東京

**ご存知?! 東京の蛍は5月から! 2016年4月7日、蛍の幼虫の上陸を目視で確認。
今年も 5月中旬に、東京の真ん中で蛍が飛翔予定!**

季節のお食事と蛍観賞を楽しむ贅沢なひととき、「ほたるの夕べ」を開催

ホテル椿山荘東京（東京都文京区・総支配人：本村 哲）では、蛍の飛翔前の行動としての「上陸」を、昨年4月7日に目視で確認できました。本年も5月中旬頃から、蛍の美しい飛翔を皆様にお楽しみいただける予定です。

なお、幼虫が陸に上がってから初飛翔までの日数は、日々の気温が関係しているのではないかというミステリアスな仮説があり、ホテル椿山荘東京では、2016年もこの仮説を検証する観測を行います。

夏に飛ぶイメージの蛍ですが、東京では初夏の風物詩として、毎年5月中旬から6月末頃にかけて蛍の飛翔が観測できます。「500度説」(*)を参考に蛍の見頃は是非お出かけください。

積算温度は、ホテルのホームページやSNSで随時更新してまいります。

■URL

<http://hotel-chinzanso-tokyo.jp/event/news/1757036c6a6c97d.html>



(*) 蛍初飛翔までの仮説「500度説」を検証中

蛍の初飛翔について2010年から「500度説」という仮説を検証する観測を行っています。ゲンジボタルの幼虫は水生で、当ホテルで幼虫が陸に上がるのは、桜（ソメイヨシノ）が散る時期の4月の雨の夜が多いです。その翌日から「1日の平均気温」を積算（加算）していき、500度に達した時に、蛍の初飛翔が観測できるという説です。なお検証を始めた2010年から2012年までは、ほぼ「500度説」通りに初飛翔が観測。しかし、2013年は温度計の故障により欠測。2014年は前日積算温度が521度になった5月18日に初飛翔を観測し概ね実証成功。2015年は626度になった5月16日に初飛翔を観測し、大きく500度を外す結果となりました。果たして、500度説の真偽はいかに。引き続き、2016年も検証を行います。

5/20~6/30 「ほたるの夕べ」を開催 ディナーbuffetやレストラン、ステイでも蛍を満喫

宵闇に舞う蛍の光。蛍観賞の前にお楽しみいただく、華やかなお食事やトリートメントプランをご用意いたしました。海の高級食材「鮑」や好評の「ローストビーフ」を主役にした「ほたるの夕べ ディナーbuffet」や、シェフが蛍の情景を表現したレストランメニュー、求愛のために光る蛍にちなんだカップルトリートメントプラン、特別に閉園後の静けさを取り戻した庭園で蛍を愛でただける「アクアガーデンホテルステイ」、大人の夜を演出する「ほたるとスタンダードジャズを楽しむ夕べ」など、この季節限定のプランを各種ご用意いたしております。

本件に関するお問い合わせ先

藤田観光株式会社 ホテル椿山荘東京 マーケティング課 担当：眞田・内田
TEL. 03-3943-5506 (直通) FAX. 03-3943-1172 Email: pressroom@hotel-chinzanso.com